

2018（平成30）年度

大田区家庭・地域教育力向上支援事業の記録



大田区教育委員会

# 目 次

1. 青少年対策羽田地区委員会	2
2. 羽田中学校学校支援地域本部アシスト羽中	2
3. 馬込東中学校 P T A	3
4. 子どもの遊びと地域の公園を考える会	3
5. おおたっ子権利条例をつくる会	4
6. 大森第七中学校 P T A	5
7. コーチングひだまり	5
8. ぼぼの会	6
9. 発達に遅れのある子どものための会 ♪おとのひろば	7
10. キャロットクラブ	7
11. 都立矢口特別支援学校 P T A	8
12. 西六郷小学校 P T A	8
13. 御園中学校 P T A	9
14. 大森東中学校 P T A	9
15. 糀谷小学校 P T A	10
16. 志茂田中学校 P T A	11
17. aurora journey 保育の世界を旅してみよう	11
18. 高畑小学校 P T A	12
19. 新宿小学校 P T A	12
20. 六郷小学校 P T A	13
21. さくらさんの会	13
22. 小規模保育園連絡会	14
23. 特定非営利活動法人ネットワーク Bear	14
24. 特定非営利活動法人おおもり子育て応援隊	15
25. 大森地区小学校 P T A 連絡協議会	16
26. いっぽいっぽ	16
27. 馬込小学校 P T A	17

# 1. 青少年対策羽田地区委員会

アンガーマネージメント ～疲れた心がラクになる怒りのセルフコントロール～

## <内容>

小中学生が夏休みを迎えるにあたり、家庭や地域の大人が温かい気持ちで子どもたちに接することができるよう、今話題のアンガーマネージメントについて学び、家庭と地域の教育力を向上させる。

アンガーマネージメントとは、怒る必要のあることは上手に怒る、怒る必要のないことは怒らないようになること。怒りのメカニズムやタイプ、怒りの対処術、コミュニケーションを円滑にする考え方などについて学び、自分ができることは何かを考える。

## <参加者の感想>

- ・自分の怒りのタイプと対策がわかった。
- ・子育てに生かしたい。
- ・他の人や家族に伝えたい。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	6月24日（日） 10:00～12:00	「アンガーマネージメント ～疲れた心がラクになる怒りのセルフコントロール～」 講師 代田真知子（株式会社トリプル・ウイン 取締役 グローバルマナースクール校長）
	萩中集会所 集会室	参加者数 177名（内訳） 会員 25名・会員以外 152名

# 2. 羽田中学校学校支援地域本部アシスト羽中

学び方の異なる子どもたちが教えてくれること ～発達障害の理解と支援の糸口～

## <内容>

発達障害の要因や特性を理解し、特別な支援ニーズのある子どもたちへの対応・支援・配慮を学ぶ場とする。また、2次障害といわれる不登校についても、学校・保護者・地域それぞれの立場での関わり方を考える。講義ではちょっとした体験などをふまえて、発達障害についての理解につながるものから導入し、対応や支援の糸口を学ぶ。また、学校教育の中で取り入れられている多層指導モデルMIMの具体的な説明から当事者が、学びを楽しみ、学びから自信を得ることの大切さなどを学ぶ

## <参加者の感想>

- ・発達障害の特性がよくわかった。これまで頭でわかったつもりになっていたが、疑似体験を通して理解できた。
- ・周囲の関わり方で、個性として生活できる、理解や関わり方によっては2次障害まで進むことがあるということに衝撃を受けた。
- ・教育の平等と公平について、考えさせられた。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	6月29日（金） 18:30～20:00	「学び方の異なる子どもたちが教えてくれること～発達障害の理解と支援の糸口～」 講師 海津 亜希子（独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 主任研究員）
	羽田中学校 ランチルーム	参加者数 120名（内訳）会員 3名・会員以外 117名

### 3. 馬込東中学校PTA

思春期と向き合う ～子どもの心を知るためには～

#### <内容>

小学校高学年から中高生までの子どもをもつ親の共通の悩みである「思春期の我が子とのつきあい方」について、今後の子育てに活かして行くために必要な視点を学ぶ。講演では、規則正しい生活習慣、基礎的なマナー、思いやり・公共性を身につける必要性と、家庭の中で子どもへの関わり(しかる・ほめる)から説明します。思春期には、①自分ができること・できないことを知る、②他人と生活することの心地よさを知る、③みんなで生きていく技術を習得することが大切であると学ぶ。

#### <参加者の感想>

- ・思春期の子どもの特性がわかり、とても参考になった。
- ・親の話をうるさがる年頃ですが子どもの感情を整理してあげて言葉にする大切さを知ることができました。
- ・具体的な例を挙げてのとてもわかりやすい講演でした。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	6月30日（土） 13:30～15:30	「思春期と向き合う ～子どもの心を知るためには～」 講師 守矢 俊一（聖進学院東京校学院長）
	馬込東中学校 会議室	参加者数 46名（内訳）会員 40名・会員以外 6名

### 4. 子どもの遊びと地域の公園を考える会

外遊びは生きる力の源

#### <内容>

子どもの居場所としても、豊かな体験の場としても公園は重要であるが、近年外遊びをする子どもが少なくなってきた。外遊びの重要性、意義を考えたい。

日本発の冒険遊び場「羽根木プレーパーク」の初代プレーリーダーだった講師に、「子どもにとってなぜ外遊びが重要なのか」「子どもの育ちに本当に必要なことは何か」をお話いただき、その後で参加者がグループにな

り、意見交換をする。

### ＜参加者の感想＞

- ・子どもの遊びについて、なぜ遊びが必要なのか、いろいろな角度から具体的に教えていただき、その大切さがよくわかりました。
- ・2歳の子どもの習い事と焦っていたが、「遊育」という言葉を知り、思いっきり遊ばせて育てていいのだと実感しました。
- ・親子だけで遊ばないというアドバイスが心に突き刺さりました。もっと友だちを増やしていきたいと思います。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	7月22日(日) 14:00～16:30	「外遊びは生きる力の源 ～外遊びからしか獲得できないこと～」 講師 天野 秀昭(NPO法人日本冒険遊び場づくり協会理事)
	キッズな大森 会議室	参加者数 24名 (内訳) 会員 4名・会員以外 20名
2	7月29日(日) 14:00～16:30	「外遊びは生きる力の源 ～豊かな遊び環境とは～」 講師 天野 秀昭(NPO法人日本冒険遊び場づくり協会理事)
	キッズな大森 会議室	参加者数 14名 (内訳) 会員 4名・会員以外 10名

## 5. おおたっ子権利条例をつくる会

子どもの笑顔と生きる力を育む

### ＜内容＞

子ども時代の「遊び」は人生を生きる力の礎となるものであると考え、子どもがありのままの自分を発揮して生きていくために、「遊び」の重要性と保障されるべき「子どもの権利」について考え合いたい。

1回目は、子どもの遊びの重要性について、様々な視点から学びました。2回目は国際的な「子どもの権利条約」と子どもたちの現状などについて話をうかがい、おとなが子どもの生きる力を育むためにできることを話し合う。

### ＜参加者の感想＞

- ・実践している人の話が聞けたのはよかった。
- ・子どもの権利について学べたのがよかった。子どもが主体であると改めて思った。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	9月2日(日) 14:00～16:30	「遊ぶことは生きること ～遊ぶ権利は守られている?～」 講師 天野 秀昭(NPO法人日本冒険遊び場づくり協会理事)
	キッズな大森 会議室	参加者数 21名 (内訳) 会員 17名・会員以外 4名

	日時・会場	内容・講師・参加者数
2	9月29日(土) 14:00~16:30	「子どもの権利を守るためにオトナにできること」 ～いじめ・虐待・居場所の不足 どうにかできない?～ 講師 喜多 明人(早稲田大学文学学術院・文化構想学部教授)
	キッズな大森 会議室	参加者数 32名 (内訳) 会員 27名・会員以外 5名

## 6. 大森第七中学校PTA

親子で乗り切る高校受験 ～保護者の心構え～

### <内容>

高校受験を乗り切るにあたり、保護者の支えは子どもにとっては大切なもの。親子で乗り切るために、志望校を決めるポイントや、受験を目前に控えた子どもへの接し方などを学ぶ。

受験期の子どもへの接し方として、志望校を決める時の話し合い、子どもの成績についての声かけ、勉強する環境、精神面を安定させることなどについて、具体的にお話を進めていく。

### <参加者の感想>

- ・思春期の子どもであり悩みは尽きないので、参考になるお話を聞けてよかったです。
- ・志望校の選び方や受験までの心構えなど、塾の先生の視点からわかりやすく説明していただけたのがよかったです。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	9月8日(土) 15:00~16:45	「親子で乗り切る高校受験 ～保護者の心構え～」 講師 斎藤 北斗(河合塾Wings下丸子教室 教室長)
	千鳥小学校 体育館	参加者数 42名 (内訳) 会員 38名・会員以外 4名

## 7. コーチングひだまり

パパ、ママ、子どもも笑顔になれる 子育てに生かすコーチング講座

### <内容>

子育てが楽しくなるよう、ひとりでも多くのパパ、ママがコーチングスキルを知り、子育てに生かすきっかけにしてほしい。

講師により、子育てにおけるコーチングスキルについて話をうかがうとともに、参加者同士で話し合い、子育ての悩みなどを共有する。

## <参加者の感想>

- ・自分で自分を承認してよいと聞き、安心できた。頑張ろうと思った。
- ・他の人たちの悩み相談から学ぶことが多かった。
- ・自分の生活に生かしていけると思った。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	9月14日(金) 10:00~11:30	「パパ、ママ、子どもも笑顔になれる 子育てに生かすコーチング講座」 講師 福井 順子(CSRコーチング代表)
	エセナおおた 会議室	参加者数 29名 (内訳) 会員 5名・会員以外 24名
2	2月2日(土) 10:00~11:30	「パパ、ママ、子どもも笑顔になれる 子育てに生かすコーチング講座」 講師 福井 順子(CSRコーチング代表)
	消費者生活センター 第五集会室	参加者数 25名 (内訳) 会員 4名・会員以外 21名

## 8. ぽぽの会

幼児期からはじめる性教育 ～子どもの「なんで？」に答えよう！～

### <内容>

子ども自身に性に関する正しい知識があると、小さいころから自分自身やお友達を大切にできるようになります。性に関する正しい知識は自分を守る盾にもなります。幼少期子どもたちにどのように伝えるか、子どもからの質問にどう答えるか。自宅出産を手掛ける助産師の先生のお話を聞きながら学んでいく。

### <参加者の感想>

- ・息子はまだ3歳ですが、自分の体とママの体の違いなど気づいてなぜ？と思っているようで、対応の仕方など聞いて参考になりました。
- ・自分自身も性教育を受けたのは学校の授業だけで、それが当たり前だったけれど、十分ではなかったかも・・・という思いがあった。子どもを持ち、自分の子に学校の授業とは違う視点で自信を持って話すことができるようになったと思う。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	9月22日(土) 14:00~16:00	「幼児期から始める性教育 ～子どもの「なんで？」に答えよう！～」 講師 土屋 麻由美(助産師)
	池上会館 第一会議室	参加者数 64名 (内訳) 会員 13名・会員以外 51名

## 9. 発達に遅れのある子どものための会♪おとのひろば

～青年期における障がい児のための学習会～

### <内容>

青年期の障がい児を対象に20歳になった時の子どもの生活の質にスポットを当てセルフエスティーム(自尊心)を育み大切にしていきたいことを学ぶ。

### <参加者の感想>

- ・わが子のこと、学校で出会う子供たちのこと、たくさん思い浮かべながらお聞きしました。この場面で使えるという具体的な内容ばかりでした。
- ・親が持っていたほうが良い視点や親も子も自信が持てるような講演でした。
- ・聞くだけの学習会とは違って、参加型で楽しかったです。お隣の知らない方とも話せて面白かった。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	9月29日(土) 9:45～11:45	「青年期における障がい児のための学習会 ①家庭・学校で出来る発達につまづきがある子の輝かせ方」 講師 川上 康則(臨床発達心理士・都立矢口特別支援学校主任教諭)
	入新井集会室 大集会室	参加者数 82名 (内訳) 会員 4名・会員以外 78名
2	10月13日(土) 14:00～16:30	「青年期における障がい児のための学習会 ②二次障害の危機を乗り越える、青年期の特徴を捉えた関わり方」 講師 川上 康則(臨床発達心理士・都立矢口特別支援学校主任教諭)
	入新井集会室 大集会室	参加者数 98名 (内訳) 会員 4名・会員以外 94名

## 10. キャロットクラブ

地域で育てる ～ダウン症のある子どものおいしく食べるお口とことばの力を育てるために～

### <内容>

障がい児をとりまく地域の人々や障がい児の家族に障がい児への理解を深めていただき、よりよい成長が相互に図れることを目的とする。

### <参加者の感想>

- ・食えること、食べさせ方など実技を通して学べてよくわかりました。
- ・実際に飲んだり食べたりすることで自分が無意識に普段どのような唇や舌を使っているかを知ることができました。それが子どもへの介助の仕方のヒントにもなり勉強になりました。



	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	9月30日（日） 13:30～16:30	「地域で育てる ～ダウン症のある子どものおいしく食べるお口とことばの力を育てるために～」 講師 石上 志保（言語聴覚士）
	池上会館 第三会議室	参加者数 48名（内訳）会員 20名・会員以外 28名

## 11. 都立矢口特別支援学校PTA

子どもの脳を活性化しよう ～日常生活を支援するブレインジムエクササイズ～

### <内容>

支援学校に通う児童、生徒達の困り感に寄り添い、脳の機能をバランスよく使う手立てを専門家から学ぶ。

### <参加者の感想>

- ・日常生活に取り入れやすい、自己肯定感につながる運動を学ぶことができました。
- ・体と脳のつながりはおもしろいと思いました。
- ・楽しく参加できて、簡単なのでやってみたいと思いました。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	10月16日（火） 10:00～12:00	「子どもの脳を活性化しよう ～日常生活を支援するブレインジムエクササイズ～」 講師 若林 千種（ブレインジムインストラクター・臨床発達心理士）
	矢口特別支援学校 第二音楽室	参加者数 36名（内訳）会員 29名・会員以外 7名

## 12. 西六郷小学校PTA

イヤなことの乗り越え方 ～セルフディフェンスとは？～

### <内容>

小学校で悪口を言われた、ケンカをした、日々のトラブルの中でどう自分を守ればいいのか、親が子どものトラブルにどこまでふみこんでいいのでしょうか。意地悪された時の断り方や、どのような対応をしたらよいかを知り、自分を守る力を学ぶ。

## <参加者の感想>

- ・自己肯定感を育む言葉がけの仕方を学べたことが良かったです。
- ・不安からやってみようになりました。
- ・これからぶつかると思われることに心構えができて安心しました。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	10月27日（土） 14:00～16:00	「イヤなことの乗り越え方」 講師 田中 典子（カウンセリング・スペース「さくら」代表）
	西六郷小学校 図書室	参加者数 40名（内訳） 会員 27名・会員以外 13名

## 13. 御園中学校 P T A

豊かな心と身体を育てる「食」 ～すぐに役立つお料理のコツ教えます～

### <内容>

「早寝早起き朝ごはん」という言葉があるように「食」は規則正しい生活に欠かせないものです。活力が出て栄養の面でも成長期の子供たちにとっての有効な食事とはどのようなものなのか。「食事をきっかけとした家族との会話」「テスト直前に有効な食事」「食事が及ぼす身体的な抵抗力」等、食事メニューだけではなく、食事をする環境や状況によって及ぼす精神的な影響を含め、様々な視点から「子どもの豊かな心と身体を育てる食」について学ぶ。

### <参加者の感想>

- ・食材は「気」をもってその食材を食すことにより元気な体や豊かな心を持つことができることを知った。
- ・食べる事を、身体と気持ちを相談しながら、楽しみながら、感じながら進めるように改めて学んだ。身体づくりの途中の子どもたちにうまく伝えられるようにしていきたいと思う。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	10月31日（水） 14:30～16:30	「豊かな心と身体を育てる『食』 ～すぐに役立つお料理のコツ教えます～」 講師 村岡 奈弥（薬膳料理研究家・国際中医師）
	御園中学校 体育館	参加者数 150名（内訳） 会員 132名・会員以外 18名

## 14. 大森東中学校 P T A

発達障害をもつ子への指導と支援で心がけたいこと

## <内容>

発達障害の子やボーダーと言われる子を持つ親は様々な苦悩があり、将来の不安を抱えている。一方特別支援教育が行われている学校現場では、その指導の難しさや周囲の関わり方に迷いも感じている。前半は講義とし、後半は質疑応答形式で出席者の一つ一つの悩みを解決する糸口とする。

## <参加者の感想>

- ・グレーゾーンといわれる子供たちの付き合い方がわかって良かったです。
- ・子供が将来「自立できるように・笑顔でいられるように」という最終目標を忘れずに今後も子供と向き合っていくと思えました。
- ・実際に現場に入っている先生の生の声(話)が聞いて良かったです。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	11月2日(金) 18:45~20:30	「発達障害をもつ子への指導と支援で心がけたいこと」 講師 石橋 恵二(武蔵野東中学校 校長)
	大森東中学校 会議室	参加者数 40名 (内訳) 会員 10名・会員以外 30名

## 15. 糀谷小学校 PTA

子どもがのびるほめ方・叱り方

## <内容>

青少年の問題行動の背景として家庭教育の重要性を伝え、保護者と地域の方々が家庭教育のあり方や心構えについて学ぶ。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	11月17日(土) 10:30~11:30	「子どもがのびるほめ方・叱り方」 講師 田島 身衣子(NPO 法人 大田家庭教育研究所)
	糀谷小学校 体育館	参加者数 116名 (内訳) 会員 112名・会員以外 4名

## 16. 志茂田中学校PTA

教えて！今どきの中学生

### <内容>

今の親たちが子供のころにはなかった新しい悩みや、新しい時代を生きる子どもへの接し方などを学ぶ。

### <参加者の感想>

- ・ライフスキルの大切さを知ることが出来てよかった。
- ・子供としっかりと話し合いができる大人になりたいと思った。
- ・スマホについて教えていただきさっそく実践した。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	11月17日（土） 15:30～17:30	「教えて！今どきの中学生」 講師 廣瀬 信慶（臨床心理士、志茂田中学校スクールカウンセラー）
	志茂田中学校 地域集会室	参加者数 30名（内訳）会員 20名・会員以外 10名

## 17. aurora journey～保育の世界を旅してみよう～

「子どもに関わる大人の五感、そして第六感も?!」

### <内容>

子どもが五感を使って遊ぶことの大切さが、科学的に実証されています。しかし、実際の子どもは室内でスマホやゲーム、TVを使って過ごす時間がとても多く、近所の公園で遊ぶことも減ってきています。子どもにかかわる大人の五感、そして第六感（直観力）を参加者と共に考えていく。

### <参加者の感想>

- ・講義とワークショップのバランスが良く、参加者同士で語り学びあう時間が多かった。
- ・子ども・社会のためにまず大人が感性を豊かにすることが大切だと確認が持てました。
- ・人とのつながりが持ててよかった。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	11月23日（金） 14:00～17:00	「子どもにかかわる大人の五感、そして第六感も?!」 講師 野村 直子（森のようちえん全国ネットワーク連盟理事・企業主導型保育室 たいようのいえ施設長）
	入新井集会室 小集会室	参加者数 35名（内訳）会員 2名・会員以外 33名

## 18. 高畑小学校 PTA

「親子で学ぶお金の使い方」

### <内容>

交通系電子マネーやネットショッピングなど、今の時代はお金の環境が大きく変わりつつある。2020 年に完全実施される小学校の新学習指導要領では「金融」がこれまで以上に教科書に取り上げられるようになることを踏まえ、小学生の子どもを持つ保護者に向けて、身近な題材である「おこづかい」を通して親子で上手にお金と付き合うための方法や具体例を学ぶ。

### <参加者の感想>

- ・子どもに伝える前に自分のムダ使いを見直し、本当に必要なものかどうか見極め、子どもと一緒に考えられるようにルールを決めてこれから学んでいかないといけないと思いました。
- ・子どものお小遣いについて学べてよかったです。
- ・生きる力、消費を振り返る、働いて収入を得る、家計を意識する・・・お小遣いは家計の一部ということを再認識させていただき、勉強になりました。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	12月1日(土) 10:00～12:00	「親子で学ぶお金の使い方」 講師 吉田 淳子(東京都金融広報委員会 金融広報アドバイザー)
	高畑小学校 集会室	参加者数 49名 (内訳) 会員 48名・会員以外 1名

## 19. 新宿小学校 PTA

わが子が自立した社会人になるために～親・教師・地域ができること～

### <内容>

幼児期から思春期までの多感で変化に富む小学校 6 年間の子育てにおける、家庭・学校・地域の役割とは何か。ひとりの大人として、目の前にいるひとりの子どもとどう向き合うか。家族の問題でとどめずに、子育てにより広い視野を持てるたくさんのヒントをもらい不安を解消していく。

### <参加者の感想>

- ・大変実感させられるお話でした。主人も一緒にお話を聞ければよかったですなと思いました。
- ・このようなお話を聞ける機会が増えれば良いなと思いました。
- ・妻・子どもとの接し方、地域との関わり方についてとても考えさせられる機会となりました。家庭で実現できるようにしていきたいです。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	12月1日(土) 10:00～12:00	講演 「わが子が自立した社会人になるために」～親・教師・地域ができること～ 講師 安藤 哲也(NPO 法人ファザーリングジャパン代表理事)
	新宿小学校 家庭科室	参加者数 36 名 (内訳) 会員 30 名 ・ 会員以外 6 名

## 20. 六郷小学校 PTA

子供のために私たちができること

### <ねらい>

子供と過ごす日常について一緒に考える。よりよい親子関係を築くには？子どもにうまく伝える方法とは？子どもの能力を引き出し、親が支えていくには？など、より良い子育てができるように親子関係の向上を目的とする。

### <参加者の感想>

- ・初めて講演会に参加したが、とてもためになった
- ・先生と直接話すことができたので良かった

	日時・会場	内容・講師等
1	12月1日(土) 10:30～12:30	「子供たちのために私たちができること」 講師 発田 憲(学校発達心理研究所 代表・研究統括官)
	六郷小学校 多目的室	参加者数 24 名 (内訳) 会員 23 名 ・ 会員以外 1 名

## 21. さくらさんの会

豊かに生きるための進学を考える ～変わる受験とその背景～

### <内容>

2020年の教育改革を前にアクティブラーニングや探求型などの21世紀型の学び力、最新の進学や受験についての情報を知り子ども達の将来を考える。

### <参加者の感想>

- ・教育の大きな変動期において何を大切にすべきか改めて考える事が出来ました。
- ・日々の子育てや自分自身のあり方、子どもとの接し方についてのヒントが盛りだくさんだった。
- ・内容がぎっしりつまった学びになる講座でした。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	12月7日（金） 10:00～11:45	豊かに生きるための進学を考える～変わる受験とその背景～ 講師 矢萩 邦彦（教育ジャーナリスト）
	嶺町集会室	参加者数 98名 （内訳） 会員 30名 ・ 会員以外 68名

## 22. 小規模保育園連絡会

子育てにも役立つ ふだんの生活に取り入れる防災術  
～あんどうりすさんと一緒に学ぼう防災講座～

### <内容>

近年様々な災害が多数発生し、防災に対する意識が高まってきているが、いざ、具体的な行動に移すとなると戸惑うことも多い。今回の講演でアウトドアの知恵が子育てや普段の生活に役立つことを知り、自ら動きだせるきっかけづくりをしていく。

### <参加者の感想>

- ・期待以上に盛りだくさんの内容でとても勉強になった。水害はあまり意識していなかったので、対策したいと思った。
- ・普段思いつかないことの情報を得ることができ、大変良い機会となった。
- ・防災グッズを買おうと思っていたが、今回教えていただいた、常備しておく5つセットをそろえようと思った。

	日時・会場	内容・講師等
1	2月16日（土） 9:30～11:30	「子育てにも役立つ ふだんの生活に取り入れる防災術」 ～あんどうりすさんと一緒に学ぼう防災講座～ 講師 あんどう りす（アウトドア流防災ガイド）
	入新井集会室	参加者数 23名 （内訳） 会員 19名 ・ 会員以外 4名

## 23. 特定非営利活動法人ネットワーク Bear

子どもの育ちと脳のしくみ ～イヤイヤ期、反抗期の大切さを知る～

### <内容>

子どもの育ちを学び、子どものイヤイヤ期、ギャングエイジ、反抗期を良い育ちにする事について学ぶ。

## <参加者の感想>

- ・イライラしますが、深呼吸して乗り切ってきたいです。
- ・先生のお人柄あふれる講演で、とても楽しく充実したものでした。
- ・愛着行動の大切さの話を聞いて良かった。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	2月18日(月) 10:00～12:00	「愛着行動と自立」 講師 佐藤佳代子(子育て子育てコーディネーター)
	エセナおおた 会議室	参加者数 26名 (内訳) 会員 12名 ・ 会員以外 14名
2	2月25日(月) 10:00～12:00	「反抗期(イヤイヤ期)と子どもの成長」 講師 佐藤佳代子(子育て子育てコーディネーター)
	エセナおおた 会議室	参加者数 26名 (内訳) 会員 12名 ・ 会員以外 14名

## 24. 特定非営利活動法人おおもり子育て応援隊

発達障害とは ～親と子の困り感をひもとく～

### <内容>

昨今認知件数が増えている「発達障害」。学校も保護者も、自らの子の問題行動から、発達障害を疑い、疑われ、苦勞をしている様子によく出会う。療育現場のスペシャリストから改めて「発達障害とは」の基礎のお話や、「療育の現場の様子」を聞くことで、日々の子育ての困り感を紐解き、子どもたちの未来について考える。

### <参加者の感想>

- ・わかりやすい言葉、わかりやすい順序で聞きやすかった。
- ・実際に経験してみてもわかることができました。
- ・子どもの気持ちがわかりました。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	2月19日(火) 10:00～12:00	「発達障害とは～親と子の困り感をひもとく」 講師 木村 常雄(地域療育センターあおば副センター長臨床心理士・社会福祉士)
	放課後デイサービス こどもラボ	参加者数 34名 (内訳) 会員 5名 ・ 会員以外 29名



## 25. 大森地区小学校PTA連絡協議会

決める力と発想力の鍛え方～聴いてほめる・任せるお手伝い～

### <内容>

子どもたちの生きる力を育むために、自由と制限の与え方、お手伝いの重要性を理解し、実践を決意できるよう、保護者が学習する。

### <参加者の感想>

- ・子どもに意思決定をさせ、決断、成功失敗を繰り返すことの大切さを学びました。家庭で少しでも実施できるように努めたいと思います。
- ・とても興味深く聞きました。お手伝い今後任せたいと思います。
- ・自分の反省点が見つかりました。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	2月 23 日(土) 14:00～16:00	「決める力と発想力の鍛え方～聴いてほめる・任せるお手伝い～」 講師 三谷 宏治（金沢工業大学虎ノ門大学院教授）
	池上会館第一会議室	参加者数 56 名 （内訳） 会員 41 名 ・ 会員以外 15 名

## 26. いっぽいっぽ

子育てに一番大切なことってなんだろう??

### <内容>

最近はSNSが普及してわからないことは何でも検索して調べる時代。しかし現実子育ては検索して得た答えで納得できるでしょうか？元幼稚園教諭であり、カウンセラーの講師に子どものスキンシップやコミュニケーションなど実践的な子育てができるよう勉強の機会を設ける。

### <参加者の感想>

- ・勉強になりました。子どもに承認することが必要だと感じました。
- ・十と一の重要性を知り、人を比べないことを学んだ。
- ・子育てのこと、夫婦関係のこと、今後うまくやっていくヒントをもらえて自身につながった。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	3月 1 日(金) 10:00～12:00	「子育てに一番大切なことってなんだろう??」 講師 福岡 佳世子（東京 QOL カウンセラーカレッジ主幹講師）
	消費者生活センター 第五集会室	参加者数 18 名 （内訳） 会員 5 名 ・ 会員以外 13 名

## 27. 馬込小学校 PTA

コミュニケーションが伝わらない仕組み～PTA 活動をもっと楽しく～

### <内容>

PTAを始めとする地域の各種ボランティア団体に積極的に協力する方が少ない。PTA 活動を通して子どもたちの喜びに触れることでボランティアに対する意識をとらえているよりも身近に感じてもらう。

### <参加者の感想>

- ・ネガティブな言葉はついつい使ってしまうので、反省しました。子育てには特に気をつけます。人によってかける言葉を考えます。
- ・子どもを動かすのに、上から言ってしまうことがほとんどだったので、違う考えで言葉にするように考え方が変わった。
- ・どうして同じように育っていなかったかよくわかりました。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	3月 9 日(土) 9:30～11:10	「コミュニケーションが伝わらない仕組み～PTA 活動をもっと楽しく～」 講師 藤崎 雄三 (株式会社オールアウト代表取締役プロフェッショナルコーチ)
	馬込小学校 集会室	参加者数 32 名 (内訳) 会員 28 名 ・ 会員以外 4 名